

事務事業名		ラメール管理運営事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総合計画体系的	政策名	(IV)ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》		所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	嘉本史紀
	施策名	(29)地域文化の振興		担当者名	志賀 崇	電話番号	0854-40-1300 (内線)
	目的的对象	対 A)市民 B)雲南市の指定文化財	意図	伝統文化や歴史遺産に関心を持ち誇りと愛着の心を培うとともに次世代に伝える。			
	基本事業名	(086)地域文化の理解促進		予算科目	会計 015001 款 15010 目 251010	大事業名	社会教育施設管理事業 中事業名 加茂文化ホール管理事業
目的的对象	対 市民	意図	地域文化に関心を持つ。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 指定管理対象施設 加茂文化ホールラメール 大ホール、ふれあいホールほか RC造3F 3,701㎡ H7.3月建築 舞台芸術や音楽活動を特色とした文化・芸術活動の拠点施設として管理運営を行っている。 指定管理者 (株)キラキラ雲南

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	① 指定管理料算定事務		1	1	1	1
	② 指定管理料支払事務					
	③ 修繕工事契約業務		3	5	5	5
	④ 指導・協議業務		14	14	14	14
	⑤ 年度協定締結業務					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 雲南市人口	人	41,159	40,548	40,055	39,949
		イ 市外人口	千人	126,871	126,564	126,213	125,654
		ウ					
		④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	①文化芸術、伝統芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動に触れる機会の拡充を図る。 ②積極的にイベントの情報発信をすることにより市民の文化活動への理解関心を促す。	ア 施設平均稼働率	%	73	73	70	75
		イ 利用施設者数	人	64,793	61,070	61,983	62,000
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
指定管理料 41,094千円 修繕費 6,499千円 消耗品費 191千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	57,196	41,545	47,784	57,135
		事業費計 (A)	千円	57,196	41,545	47,784	57,135
	人件費	正規職員従事人数	人	3	1	2	
		延べ業務時間	時間	731	64	230	
		人件費計 (B)	千円	2,882	251	895	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	60,078	41,796	48,679	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
優れた舞台芸術や音楽を市民に提供する施設として、また、市民の文化活動の拠点として定着している。	平成24年度より文化施設3館の指定管理料に含まれていた自主企画事業費を文化事業企画運営業務として分離して委託した。	施設は築後18年が経過し、特に空調等の故障が起り、空調、照明、給排水等の設備の更新時期を迎えている。

事務事業名	ラメール管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現状の指定管理料でできる限りの管理運営及び有効活用を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	加茂文化ホールの施設特性(ホールの規模、音響、照明設備等)を活かした事業運営を行っている。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	指定管理者制度を導入してサービスの向上を図っており、更に人件費及び業務時間を削減する妥当性がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
空調・舞台設備等耐用年数を経過し、更新時期を迎えている。平成25年度は、舞台吊物ワイヤーの取替え、冷温水器緊急修繕、気中開閉器及び発電用蓄電器の交換、第1会議室エアコンの取替え、消火器の更新を行った。そのほか、経済対策の小規模営繕事業として、客席シート背座の張替え、カーペットの取替えを実施した。			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
施設の老朽化に伴う修繕を今後も計画的・効率的に実施しないと、利用者あるいは指定管理者への不利益が大きくなる。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		